

広島県告示第720号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

平成25年9月24日

広島県知事 湯 崎 英 彦

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	東京都北区王子一丁目4番1号 日本製紙株式会社 代表取締役社長 芳賀 義雄
工場又は事業場の所在地及び名称	大竹市東栄一丁目16番1号 日本製紙株式会社板紙事業本部大竹工場（北）

2 申請の内容

他の特定事業場から排出される水を処理することに伴い、74特定事業場から排出される水の処理施設2基を新設する。

また、活性汚泥処理施設及び凝集沈殿処理施設の処理の方法を変更するとともに、第1排水口の排水の汚染状態を変更する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

(その1) 新設

種 類	74特定事業場から排出される水の処理施設 (15活性汚泥処理施設)	
能 力 (1 日 当 たり)	排水処理量 40,000m ³	
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	工事着手2日後
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	工事完成後直ちに

使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		24時間連続 (季節的変動なし)				
	項 目		ケース1 (第3号抄紙機からの排水を 活性汚泥処理施設で処理する場合)		ケース2 (第3号抄紙機からの排水を 活性汚泥処理施設で処理しない場合)		
			通常	最大	通常	最大	
	排出される 汚水状態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		6~9	6~9	6~9	6~9
		(単位: mg/L)	化学的酸素要求量	54	95	45	85
			浮遊物質	40	80	40	140
			窒素含有量	25	34	26	43
			リン含有量	2.6	4.1	2.3	4.4
	アンモニア, アンモニウム化合物, 亜硝酸化合物及び硝酸化合物		0.2	0.2	0.2	0.2	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		8,405	30,000	1,355	24,750		
汚水等の排出先		凝集沈殿処理施設					

(その2) 新設

種 類		74特定事業場から排出される水の処理施設 (16凝集沈殿処理施設)				
能 力 (1 日 当 たり)		排水処理量 80,000m ³ (51mφ), 40,000m ³ (30mφ)				
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに				
	工事完成予定年月日	工事着手2日後				
	使用開始予定年月日	工事完成後直ちに				
使	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		24時間連続 (季節的変動なし)			
	項 目		ケース1 (第3号抄紙機からの排水を 活性汚泥処理施設で処理する場合)		ケース2 (第3号抄紙機からの排水を 活性汚泥処理施設で処理しない場合)	
			通常	最大	通常	最大

用 の 方 法	排出される汚水等 の状態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	6~9	6~9	6~9	6~9
		化学的酸素要求量	35	65	35	65
		浮遊物質質量	40	65	40	65
		窒素含有量	19.9	30	19.9	30
		リン含有量	2.0	4.0	2.0	4.0
	アンモニア, アンモニウム化合物, 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	1.0	5.0	1.0	5.0	
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		45,000	56,000	45,000	56,000
汚水等の排出先		第1排水口				

(2) 汚水等の処理の方法

(その1) 変更

			変更前				変更後				
種 類			活性汚泥処理施設								
工 期 等	工事着手予定年月日		既設				許可後直ちに				
	工事完成予定年月日						工事着手2日後				
	使用開始予定年月日						工事完成後直ちに				
使 用	項 目		ケース1 (第3号抄紙機からの排水を活性汚泥処理施設で処理する場合)								
			処理前		処理後		処理前		処理後		
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
	処理前 処理後の 汚水等の 汚染状況	化学的酸素要求量	(単位: mg/L)	59	117	55	110	54	105	54	95
		浮遊物質質量		96	136	40	80	68	148	40	80
窒素含有量		24		29	22	27	25	34	25	34	
リン含有量		3.0		4.1	3.0	4.1	2.6	4.1	2.6	4.1	

の 方 法	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)			5,380	30,000	5,380	30,000	8,405	30,000	8,405	30,000
	項 目			ケース2 (第3号抄紙機からの排水を活性汚泥処理施設で処理しない場合)							
				処理前		処理後		処理前		処理後	
				通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	処理前 処理後の 汚水等の 汚染状況	化学的酸素要求量	(単位: mg/L)	45	75	43	72	45	85	45	85
		浮遊物質		42	46	65	80	43	380	40	140
		窒素含有量		30	45	30	45	26	43	26	43
		リン含有量		2.9	4.9	2.9	4.9	2.3	4.4	2.3	4.4
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)			330	24,750	330	24,750	1,355	24,750	1,355	24,750	
汚水等の排出先			凝集沈殿処理施設								

(その2) 変更

				変 更 前				変 更 後			
種 類		凝集沈殿処理施設									
工 期 等	工事着手予定年月日			既設				許可後直ちに			
	工事完成予定年月日							工事着手2日後			
	使用開始予定年月日							工事完成後直ちに			
使 用 の	項 目			ケース1 (第3号抄紙機からの排水を活性汚泥処理施設で処理する場合)							
				処理前		処理後		処理前		処理後	
				通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	処理前処理 後の汚水等 の汚染状況	浮遊物質	(単位: mg/L)	50	68	40	65	50	108	40	65
		窒素含有量		21	30	20	30	21	30	19.9	30
項 目			ケース2 (第3号抄紙機からの排水を活性汚泥処理施設で処理しない場合)								
			処理前		処理後		処理前		処理後		

方 法				通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	処理前処理 後の汚水等 の汚染状況	浮遊物質量	(単位： mg/L)	49	74	40	65	49	104	40	65
		窒素含有量		21	30	20	30	21	30	19.9	30
汚水等の排出先				第1排水口							

(3) 排出水の汚染状態

(その1)

排水口 名	項 目	変 更 前		変 更 後	
		通 常	最 大	通 常	最 大
第1 排水口	窒素含有量 (単位：mg/L)	20.0	30.0	19.9	30.0

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

平成25年9月24日から平成25年10月15日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課及び広島県西部厚生環境事務所環境管理課並びに大竹市市民生活部環境整備課